

きほくのまちな人探訪

「苦しさの先にある達成感 800m走でインターハイに出場」



おかの ゆうと
岡野 裕斗 さん

宇和島東高校3年生の岡野裕斗さん。四国総体の男子800mで3位に入賞し、インターハイに出場しました。

小さい頃から走ることが好きだったという岡野さん。中学時代は陸上部がなかったこともあり、野球部に所属。走力を活かして、県大会での優勝にも貢献しました。

陸上部の監督からの誘いもあり、高校から800mや1500mといった中距離走を始めました。なんと、その監督は、父親の高校のときの恩師。実は岡野さんのお父さんも800m走で鍛えられていたそうで、親子2代にわたり指導を

受けることになりました。

また、陸上部が冬期に取り組み駅伝では、県大会で優勝し、昨年の12月に開催された全国高校駅伝にも出場。中距離走の選手が得意とする比較的距離の短い2区を走り、全国レベルの走りを経験しました。思うような走りではできませんでしたが、その悔しさがその後の練習に取り組む原動力となったそうです。

今後は、陸上の強い大学に進学予定の岡野さん。「大学でも中距離走に取り組み、インターハイ出場を1つの目標にしたい」と、強く意気込んでいました。

ALTの鬼の里Diary ~ Ada's編~

「I want to enjoy summer」



日本の夏には、私が楽しみにしている風物詩がたくさんあります。バーベキューをしたり、キャンプをしたり、スイカを食べたり、夏祭りに行ったり、花火を見たりすることが大好きです。

また、私は海で泳ぐことも大好きです。それは、私がアメリカで住んでいた地域から海がとても遠かったため、海に行くことがとても特別なことに感じているからです。小さい頃には、大きな湖や川が近くにあったので、夏にはよく泳ぎに行った思い出があります。

アメリカでもバーベキューはとても盛んです。ガスでも炭でも使用できる大きなグリルでコーンやソーセージ、ステーキ、野菜などを焼きます。また、ポテトサラダやコールスロー、クッキーやブラウニーなどのスイーツも食べます。

夏になると大人気なのがスイカですが、アメリカでは日本のように目隠しをして棒で叩くスイカ割りをする習慣はありません。とても楽しいことなので、アメリカに帰ったときには家族とスイカ割りをやってみたいと思います。

地域おこし協力隊活動日記

「泉貨紙の新たな可能性を模索」

地域おこし協力隊2年目

あわの まさおみ
栗野 正臣



鬼北町に来てから2回目の夏を過ごしております。

私の住んでいる日吉地区では、日中は暑いですが、朝晩は涼しく、睡眠にはとても良い環境でありがたいです。

新型コロナウイルス感染症の影響を受け、今年もさまざまな催しが中止されているようです。残念ではありますが、このような状況だからこそ、今まで見過ごしてきた物事に目を向ける機会だと捉え、少し視線を変えて日々を過ごそうと思っています。

泉貨紙の活動においては、現在、商材開発を進めています。厚みがあり、

立体造形が可能な泉貨紙は、幅広い分野で活躍できる素材であると思っています。いつか堂々と自信を持って提案できる品物が作れるよう模索を続けていきたいと思っています。



▲泉貨紙を使用した照明